

広報「ふるさと さづか」への期待

佐東地区まちづくり協議会会長

藤澤 勝



この度、広報さづかは装いも新たに発刊することになりました。佐東地区まちづくり協議会が昨年12月発足し、今年度から実質的にその活動が始まりました。

広報部会は、地区センター時代と違って独立部会となり8人の部員が専任で務めて頂くこととなりました。まちづくり協議会の活動内容を伝えてもらったり、佐東地区の素晴らしいところをレポートしてもらうことなどを期待しております。

「幸せを感じ、住んでよかったと思える佐東地区」を目指して協議会を立ち上げ、これから地区住民の協力のもと、理想に向かって活動を活発にしていきたいものです。

佐東地区は昨年の住民アンケートで、「自然が豊かである」「地区住民の気質の良いところがある」反面、「商業施設がない」「交通機関が少なく不便」など生活インフラに問題があります。

これからの広報紙は、年4回の発行を予定しており、佐東地区のいろいろな人々の活動状況を伝えたり、いろいろな自然、歴史などのレポートを待っております。

私は、高校時代の3年間この佐東を通学路として往復しておりました。その時は佐東を意識したことはなく、牛ヶ谷のトンネルの前の急坂だけが記憶に残っておりました。ところが大学に進学してゴールデンウィークに帰省した時の佐東の輝く若緑に感激したことを今でも思い出します。

この素晴らしい佐東を住んでよかった所にしたいものです。

まちづくり協議会へつなぐ『「佐東発見くるりんウォーク」(高瀬版)』



体育部主催で3月12日(土)春うららかな日に72名のみなさんの参加で行われました。高瀬の歴史が残るものについて副部長さんから、説明を聞きながら歩きました。

折り返し地点の佐東山入口の駐車場で、ゲームをして遊び、部員さんたちが景品を用意してくれました。

また、帰りには高瀬構造改善センターで福井豊高さんから高瀬の歴史にまつわるお話を伺い「福井豊高さん」ました。

時間の関係で予定したすべての場所を巡ることはできませんでしたがみなさん満足満足の半日でした。

準備・当日の体育部全員のみなさんのすばらしい動きに感動しました。28年度は小貫・中方を巡ります。お楽しみに!

